

# 一般社団法人アジア自立支援機構（GIAPSA）2019年度事業計画書

事業期間： 2019年4月1日から 2020年3月31日まで

予算規模： 350万円（寄付を含む自己資金）+ 外部資金（未定）

## 1. 事業 及び事業案

### A) タイ：Community based sustainable livelihood development in Mae Chan Tai Village

2018年に始まった事業案の作成は、3度の現地調査とメーチャンタイ村リーダー達との数度の協議の末事業案の合意に至り、2019年7月29日にチェンマイで合意書に調印し、2019年8月1日に3年間の事業の開始に至った。総事業費約390万円のうち、GIAPSAから240万円拠出し、残りを村の受益者が負担する。この事業は村の青年たちが中心に自主的に設立されたメーチャンタイ村コミュニティ事業部のコーヒーによる村おこし運動を支援するもので、自然環境に調和した栽培や加工技術の改善によりコーヒーなどの農産物の質と市場価値を高め、村民の収入と雇用の向上、環境保全、そして生活レベルの改善を図るものである。

現在、コーヒー豆加工場の建設が始まり、10月にはコーヒー豆栽培と加工技術のトレーニングセミナーが現地で開かれ予定である

2019年9月に第一回目のProject Steering Committee Meeting が開かれる。プロジェクトの詳細は以下である。

**Project Symbol:** GIASPA/2019/01

**Project title:** Community Based Sustainable Livelihood Development in Mae Chan Tai Village

**Project Venue:** Tha Kor S.-District, Mae Suai District, Chiang Rai Province, Thailand

**Starting Date:** 1 August 2019

**Duration:** 3 years

**Executing Agency:** Mae Chan Tai Community Enterprise (MCT-CE)

**Donor Agency:** General Incorporated Association for the Promotion of Self-reliance in Asia (GIAPSA)

**Supporting Agency:** Inter Mountain Peoples Education and Culture in Thailand (IMPECT)

**Total Budget:                   Thai Baht 1,137,500**

**(Donor contribution:   Thai baht 696,000)**

**(Counterpart:                   Thai baht 441,500)**

---

## **Summary**

Thailand has achieved a remarkable economic growth in recent past. However, the bottom 10% of the population is still suffering from poverty, primarily with a lack of sufficient income and employment opportunities. Out of several disadvantaged groups who are suffering from poverty, indigenous people living in the mountainous hill areas constitute one of the largest poverty groups in Thailand and Southeast Asia. Without targeting to support these poor hill tribes, the goal of poverty eradication (towards achieving 0 %); one of the most important Sustainable Development Goals (SDGs), would never been achieved.

This project, therefore, is aimed at to building up a self-help capacity of indigenous communities in Thailand and establish a replicable model which would serve as a model for community based sustainable livelihood development of mountain villages in Thailand and beyond. More specifically, the immediate objective of the project is to improve the livelihood of the villagers in Mae Chan Tai village through the promotion of community-based enterprise for quality coffee production, processing and marketing, and enhancing their income, employment and living conditions.

---

### **B) カンボディア : Improving livelihood of poor farmers through empowering their self-help activities**

アジアの農民組織のネットワークである AsiaDHRRA (アジア村落開発ネットワーク) の傘下のカンボディア村落開発ネットワーク (CamboDHRRA) と Farmer and Net Association (FNN)をパートナーとして、貧しい農民グループに対して、自助努力による収入増加運動やグループの回転資金 (Revolving Funds) の設立を支援するものである。GIAPSA から約 100 万円の自己資金の拠出を予定している。

現在、農民グループと受益者参加型の協議や調整を継続中で、農業生産に根差した具体的な事業 (例えば小規模養鶏、淡水魚の養殖、有機野菜栽培、等) の支援要請が出てくるものと期待している。2019 年 10 月までに事業案作成を完了し、2020 年 1 月に事業開始の予定である。

### C) バングラデシュ： タンガイル地域における乳用ヤギの導入とヤギミルク生産

タンガイリに活動の拠点を置くバングラデシュの中堅 NGO である SSS と共に貧しい農民たちの収入の増加や、女性雇用機会の増加、子供たちを主体とした栄養改善などを目的とした乳用ヤギの飼育技術の普及やローンによる農民達へのヤギの提供、ミルク販売や加工の促進の支援を行う予定である。1回目の現地調査（2019年3月）に続き、2019年12月に2度目の現地調査を行うことにより具体的な事業計画の作成に入る予定である。予算規模未定。

### D) タイ南部：タイから消滅するサゴヤシ林の保全と啓蒙活動

近年までタイ南部にはサゴヤシ林が存在し、地域の環境や伝統的な地域文化に貢献していたが、近年、油ヤシや天然ゴム栽培の急速な拡大に影響されて数を減らし、タイ南部から絶滅の危機に立たされている。この為、タイ南部のトラングにあるサゴヤシ保護の先駆的 NGO であるヤドホン協会などと共に、サゴヤシ保護や有効活用の将来の方向性を話し合い、具体的な事業案の作成を2019年末をめどに完了する予定である。予算規模未定

## 2. その他の活動

上記のプロジェクト（事業）ベースの活動以外に下記の活動をする予定である。

- A) アジアの村落開発を支援する国際 NGO の AsiaDHRRA の上級顧問として、継続して技術アドバイスの提供や定例会議への参加を行う（2020年2月予定）。
- B) 日本の NGO であるセーブザプラネットの技術アドバイザーとして同組織のバングラの事業の現地視察を継続して行い、アドバイスを行う（2019年12月予定）。
- C) 持続可能な科学技術統合国際会議の企画委員の一人として、2019年度及び2020年度の会議の開催準備への支援や会議での基調講演・司会等等を行う。
- D) その他、招待された国際会議に参加し、後援や座長を務める（年に2-3回予定）
- E) タイ国立シーナカリンウイロート大学経済学部の客員教授として、環境問題やグローバル課題に対する理解の向上を目指して、学生達に対して講義や啓もう活動を行う。
- F) 新聞のコラム（代表理事はコラムニストとして毎月執筆中）やマスメディアを通じて、貧困、飢餓、格差、環境等のグローバル課題について啓蒙活動を行う。

、